

平成30年度第2回さぬき市地域包括支援センター運営協議会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成31年2月14日（木） 14：00～15：29
- 2 場 所 さぬき市福祉事務所 2階201・202会議室
- 3 出席者 [委 員] 十河章・為国真理・森佳司・近江照博・名出美紀・多田隆生  
西田正己・中條弘矩・江口キミコ・谷幸夫・南智香・國方光廣  
藤井可郭・楳垣満・真鍋芳樹・間島憲仁・藤井英俊・石原裕二  
[事務局] 福澤光朝・川田涼子・國方秀樹・山下昌美・鎌野由佳・磯崎淳子  
白井博子・高橋真理恵・古市真理・鎌田碧美  
[傍 聴] なし
- 4 議 題 (1) 平成30年度運営状況について  
(2) 平成31年度運営計画について  
(3) その他

5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	<p>ただいまから、平成30年度第2回さぬき市地域包括支援センター運営協議会の会議を開催いたします。</p>
(会長)	<p>本協議会は、さぬき市地域包括支援センターの適切、公正かつ中立な運営の確保を図るため設置しています。</p> <p>それでは開会にあたりまして、会長に御挨拶をお願いします。</p> <p>(会長挨拶)</p>
(課長)	<p>本日の会議は、委員の半数以上の出席があり、地域包括支援センター運営協議会設置要綱の規定により成立していることを御報告いたします。</p> <p>設置要綱の規定により、会長が会議の議長となることとしていますので、以降の議事につきましては会長に進行をお願いします。</p>
(議長)	<p>それでは、次第に基づき議事を進行します。議題1「平成30年度運営状況」について、事務局の説明を求めます。</p>
(事務局)	<p>(事務局説明)</p>
(議長)	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>議題について、委員の皆様より御質問、御意見等がありましたらお願いいたします。</p>
(委員)	<p>27ページの総合相談及び権利擁護相談状況についてですが、平成30年度は、平成29年度に比べて高齢者虐待の件数が増加しています。どういう虐待が多くなっているのか、どういう経路で相談があったのか教えてください。</p>
(事務局)	<p>相談件数については、数字に開きがあるように見えますが、実際の年間の実人数は、平成29年度が7件、平成30年度が8件となっています。平成30年度の相談経路は、介護支援専門員からの相談が4件、警察からの相談が3件、匿名の相談が1件となっています。匿名の相談につきましては、施設職員による不適切な介護があるのではないかという相談でした。</p>
(委員)	<p>先程、権利擁護の事例紹介がありましたが、その後が気になります。どのように対応してうまくいっているのか、悪化しているのか、紹介するのは特別な事例だと思いますが、その後どういう風に扱ったか、できればそういうものも報告していただきたいです。</p>
(事務局)	<p>事例1の方は経済的な課題や親族等の引受人がいないということで、介護サービスに繋がったあとも地域包括支援センターや社会福祉協議会が役割分担しながら協力して支えているところです。本人との関係づくりや、対応内容が複雑化しているというところで、生活に一步踏み込んだ支援が</p>

	<p>必要になります。認知症の独居高齢者への対応については、最初の介入が難しいですが、一旦介護サービスが安定して入るようになれば、ケアマネ等が中心となり、経済的な課題や引受人の課題が発生した場合などには、地域包括支援センターが協力・連携して支えています。</p> <p>事例2の方のように引きこもりの家族の方に課題がある場合には、高齢者が自立している間は地域包括支援センターとしての関わりは難しいですが、引きこもりや障害についての情報提供に努めています。介護と引きこもりの双方への支援が必要となった場合には、できる限り役割分担できるように関係機関の繋ぎや支援をしています。</p>
(委員)	<p>毎回事例の報告をいただきますが、継続的な支援が必要な方には引き続き支援を行って、その上で、その後の経緯についても我々に報告をいただけたらと思います。</p>
(委員)	<p>41ページの認知症地域支援推進員の個別相談対応件数についてですが、4月～12月で相談件数が73件、相談実人数で43人となっています。さぬき市内での認知症の人数を教えてください。</p>
(事務局)	<p>国の推計によりますと、さぬき市内では65歳以上の認知症高齢者は約2,500人となります。65歳以上の高齢者の7人に1人が認知症と推計されています。さぬき市では、認知症への理解を深めてもらうための認知症サポーターの養成を行っております。また、本人や介護者への支援のため、認知症カフェを平成32年度までに設置できるよう現在、調査・研究を行っております。</p>
(委員)	<p>認知症の予防には、さぬき市や、各機関が熱心に取り組んでいると思いますが、認知症の初期の段階での対応も重要ですので、さぬき市でもさらに取組を進めていって欲しいと思います。</p>
(議長)	<p>他に議題1「平成30年度運営状況」について御質問、御意見等ございませんか。</p> <p>(特に質問等なし)</p>
(議長)	<p>続きまして、議題2「平成31年度運営計画」について、事務局の説明を求めます。</p>
(事務局)	<p>(事務局説明)</p>
(議長)	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>議題について、委員の皆様より御質問、御意見等がありましたらお願いいたします。</p>
(委員)	<p>51ページの介護予防・生活支援サービス事業についてお伺いします。</p> <p>現在は、介護予防訪問介護相当サービス、介護予防通所介護相当サービス及び訪問型サービスAを提供しているとのことですが、多様なサービス</p>

<p>(事務局)</p>	<p>としての住民主体の B 型、短期集中の C 型サービスの提供についてどのような構想を持っていますか。また、訪問介護なら訪問介護のヘルパー、通所介護なら事業所の職員だけが中心になっていると思うのですが、薬剤師や訪問看護師などほかの専門職はどのように関わっていけばいいですか。</p> <p>現行では、多様なサービスは訪問型サービス A だけの提供になっていますので、先ほど説明をしました生活支援体制整備事業を活用して、協議体という組織を設置し、さぬき市全体が設置区域になっていますが、地域団体の方に構成員になっていただいて協議を進めています。今後、どういったサービスが各地域に必要かということは、中学校区等の範囲を設置区域といたします第 2 層協議体を設置して、その中には地域団体の方に入っていて、協議を進めていった上で、地域に必要なが不足するサービスを把握できたら、そのあとは不足するサービスの提供に向けて担い手を養成した上で、サービスの提供に繋げていきたいと考えています。</p> <p>薬剤師、訪問看護師などの専門職の参加についてですが、国が提供を促進するサービスは、住民主体のサービスですが、いろんな状態の人がいて、それぞれの状態にあったサービスの提供が必要になることから、住民主体のサービスと専門職が提供するサービスを組み合わせてサービスを提供していくことも考えられますので、介護予防ケアマネジメントを行う中で、専門職と連携していきたいと思っています。</p>
<p>(委員)</p>	<p>51 ページの介護予防・生活支援サービス事業についてお伺いします。</p> <p>さぬき市は「訪問型サービス、通所型サービスに加えてさぬき市独自の訪問型サービス A を提供します」とのことですが、平成 29 年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算額を見ますと、事業費が前年度と比較して大幅に増えています。独自サービスの提供が要因なのか、別に要因があるのか教えてください。また、平成 30 年度についても教えてください。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>介護予防訪問介護と通所介護の介護予防・生活支援サービス事業への移行に伴いまして、平成 28 年度まで別の費目に予算計上していましたサービスの給付費をこの介護予防・生活支援サービス事業費目に計上することになったことが大幅な増額の要因です。従いまして、平成 29 年度から平成 30 年度にかけては、若干の費用の伸び程度に収まると見込んでいます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>市町村独自のサービスを提供できる仕組みになっているということでしたが、決算額が大幅に増えていたのでお聞きしました。多様なサービスの提供は積極的に進めていただきたいと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>今後の行政の方針として、在宅医療・介護連携の推進をあげていますが、事例が多くなると、訪問型サービスの提供の体制をつくるのがかなり必要になってくると思いますが、どう考えていますか。</p>

(事務局)	<p>訪問型サービスには、介護サービス事業所が提供するサービス A、住民が主体となって提供するサービス B、専門職が短期集中で提供するサービス C がありますが、その中でも、住民が主体となってボランティアで生活援助を提供するサービス B について、生活支援体制整備事業を活用して、提供できる体制を作っていくことに力を入れています。</p>
(委員)	<p>61 ページの介護給付費等適正化事としてケアプランの点検を行っていると思いますが、その結果を教えてください。</p>
(事務局)	<p>この事業は、平成31年度からの新規事業として実施を予定しているもので、委託先の講師が、居宅介護支援事業所のケアマネージャーに対し、本当に必要なサービスがケアプランに位置付けられているかどうかなどについてヒアリングを行って点検します。さぬき市内に、約30の居宅介護支援事業所がありますので、各年度5事業所ずつ、6年かけて全ての事業所に対して行う予定です。ケアプラン点検は現在も職員が行っていますが、さらなる適正化を図るために、新たに実施を予定しています。</p>
(委員)	<p>61 ページ介護教室の開催についてお伺いします。前年度までの実績と比較すると、平成31年度の参加計画の人数が減少しています。在宅医療・介護連携の推進に力を入れている国の方針と逆行しているのではないのでしょうか。</p> <p>また、62 ページの介護用品支給事業として実施している紙おむつの支給の計画数も過去の実績と比較して減少しています。在宅での生活を考えると、流れに逆行しているのではないかと思います。</p>
(事務局)	<p>いずれの数字も計画の数値です。介護教室の参加実績については、平成31年度も、結果的には、今までの傾向から考えると、平成30年度までの実績に近い数値になるのかなと思っています。また、紙おむつの支給についても、支給の要件に合致すれば支給しますので、必要な方が受給できなくなることはありません。</p>
(議長)	<p>他に議題2「平成31年度運営計画」について御質問、御意見等ございませんか。</p> <p>(特に質問等なし)</p>
(議長)	<p>議題3その他として、委員の皆様より御質問、御意見等がありましたらお願いいたします。</p>
(委員)	<p>事例紹介以外にさぬき市内で、高齢者に対しての暴力や虐待はありますか。</p>
(事務局)	<p>今年度虐待として相談を受け付けた人数は8人ですが、そのうち疑いも含めて、虐待と判断した件数は4件でした。今年度に限らず、毎年虐待者は息子さんや旦那さんなど男性が多く、虐待を受けているのは女性が多く</p>

	なっています。
(議 長)	他に議題3「その他」について御質問、御意見等ございませんか。 (特に質問等なし)
(議 長)	それでは、以上で本日の議事を終了します。ありがとうございました。 進行は、事務局にお返しします。
(事務局)	御協議ありがとうございました。次回会議につきましては、平成31年 7月頃に開催させていただきたいと考えております。御多忙とは存じま すが、よろしく願いいたします。  以上をもちまして、平成30年度第2回さぬき市地域包括支援センター 運営協議会の会議を終了いたします。